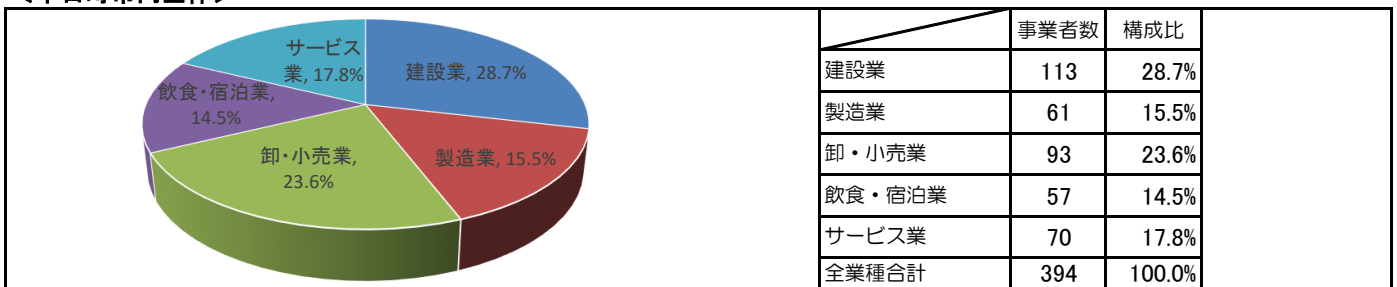


十日町市地域 企業景況調査 第2四半期報告書 (R3.7.1~R3.9.30) 川西地区

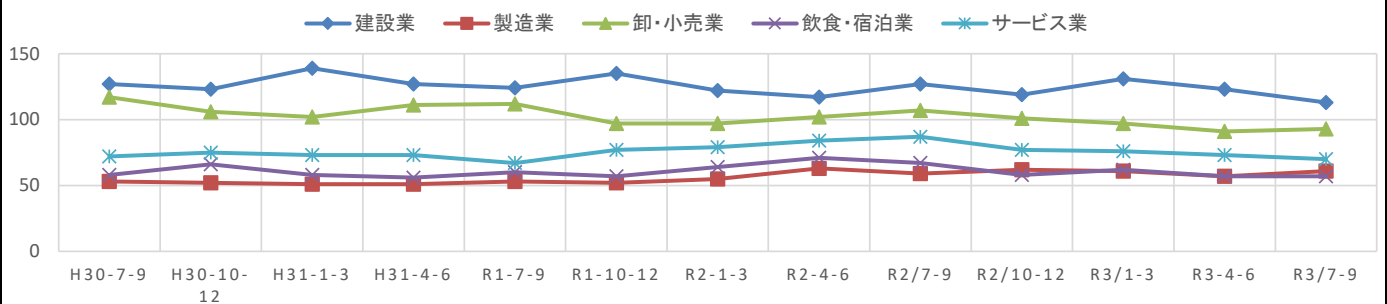
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



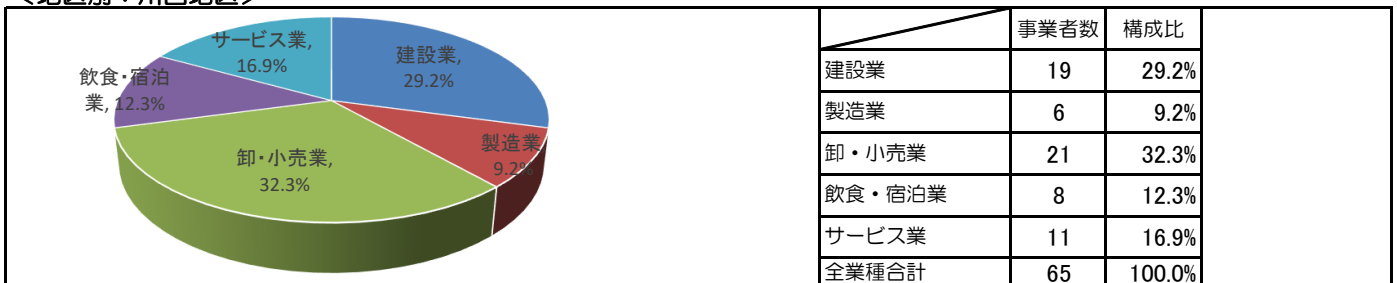
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



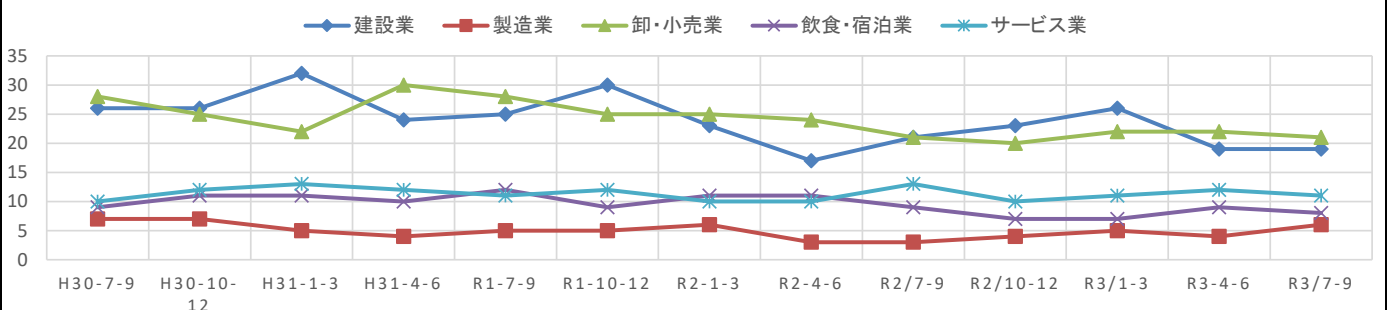
<コメント>

今回の調査は、十日町市内394事業所から回答を得られ、前回調査よりも7事業者減少している。建設業とサービス業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

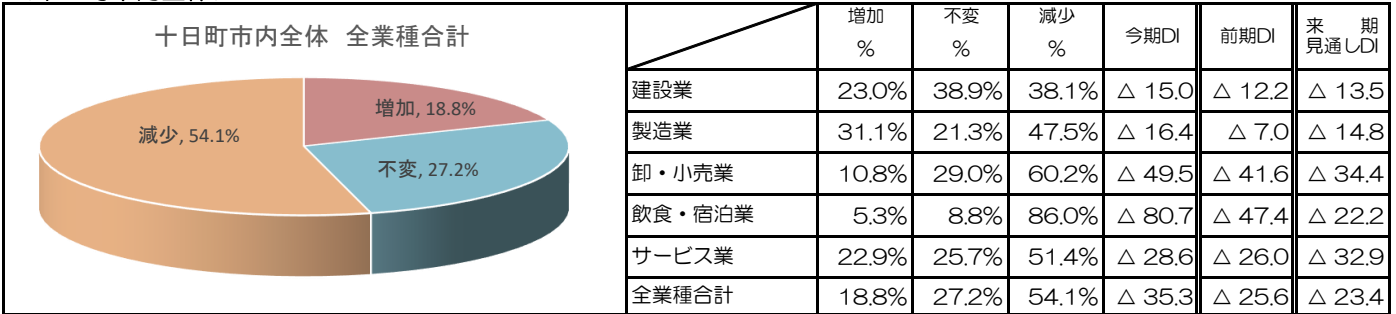
川西地区の業種割合は商工業者100社に調査依頼をし、65社(回収率65%)からの回答をもとにした集計結果である。回答数については若干の変動があるものの、回答割合については前回調査時と大きな差はないものとなっている。

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

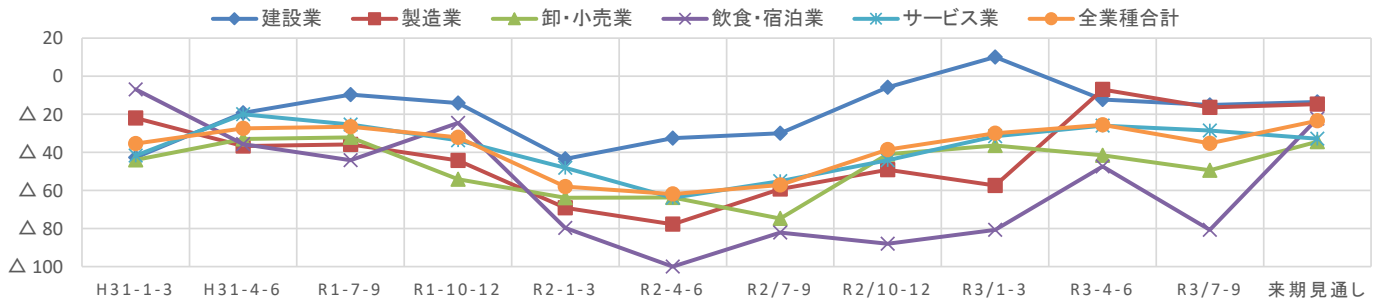
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



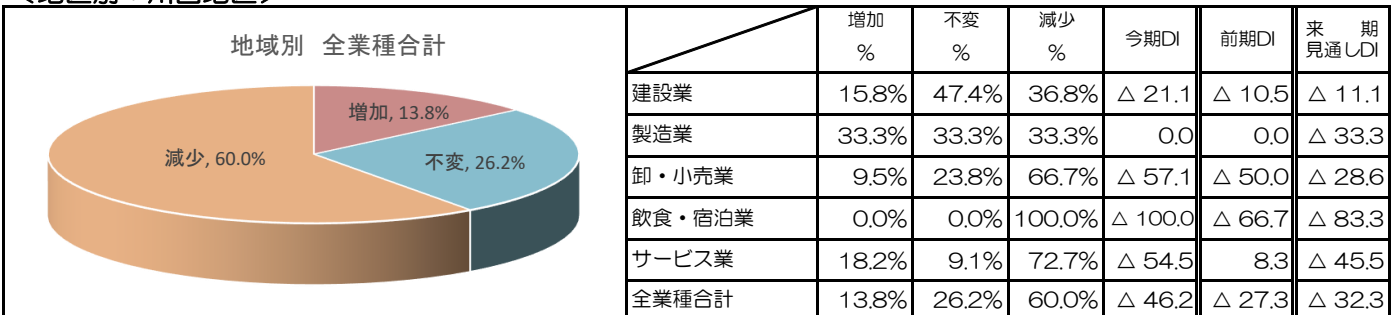
業種別売上の推移（市内全体）



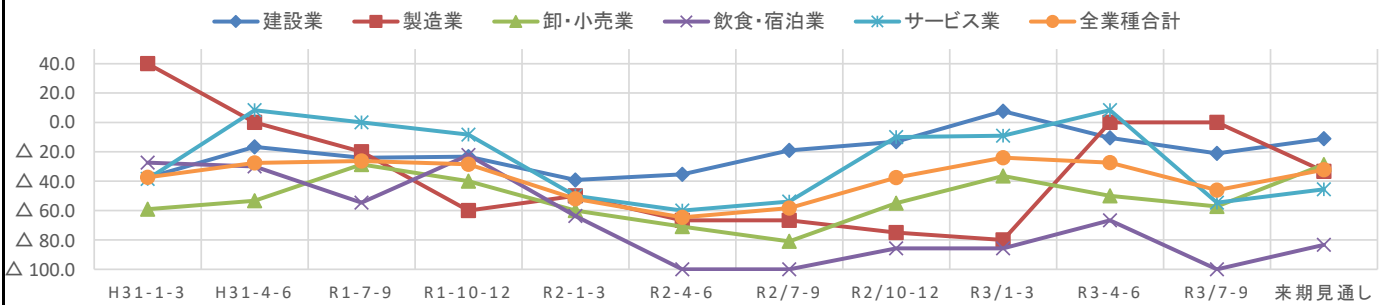
<コメント>

十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△35.3ポイントで、前回調査時よりも9.7ポイント低下となっている。全業種が低下する中、特に飲食・宿泊業の低下が大きくなっている。来期見通しでは製造業とサービス業、建設業は低下予測であるが、その他の業種では上昇予測となり、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



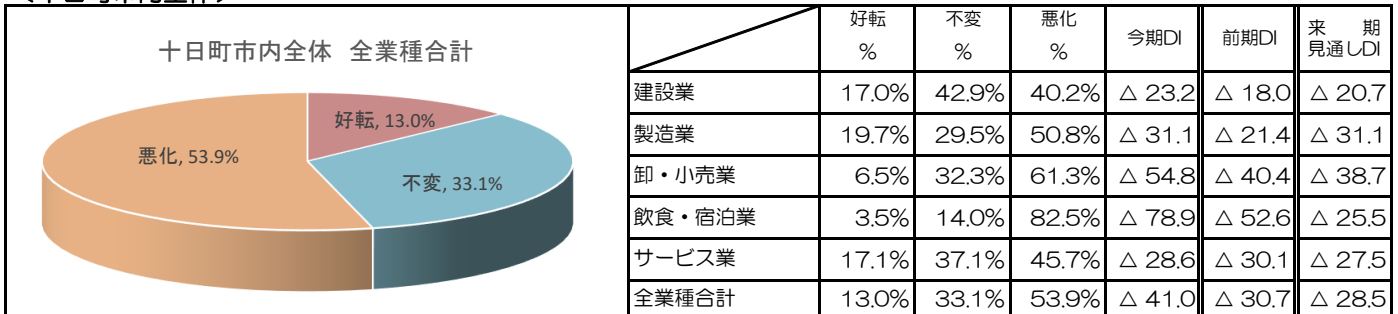
<コメント>

川西地区の今期の売上状況は全業種合計で△46.2ポイントとなっており、前回調査時と比較して18.9ポイント低下している。製造業を除く全業種で減少している中、サービス業で最も減少幅が大きくなっており、飲食業では全事業所が減少回答となっている。来期については、製造業以外では回復する見込みとなっており、全体でも若干の増加予測となっている。

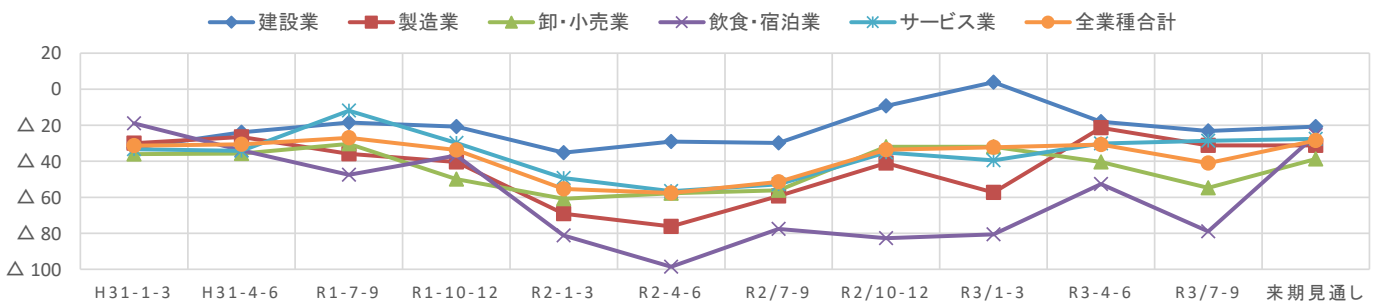
2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



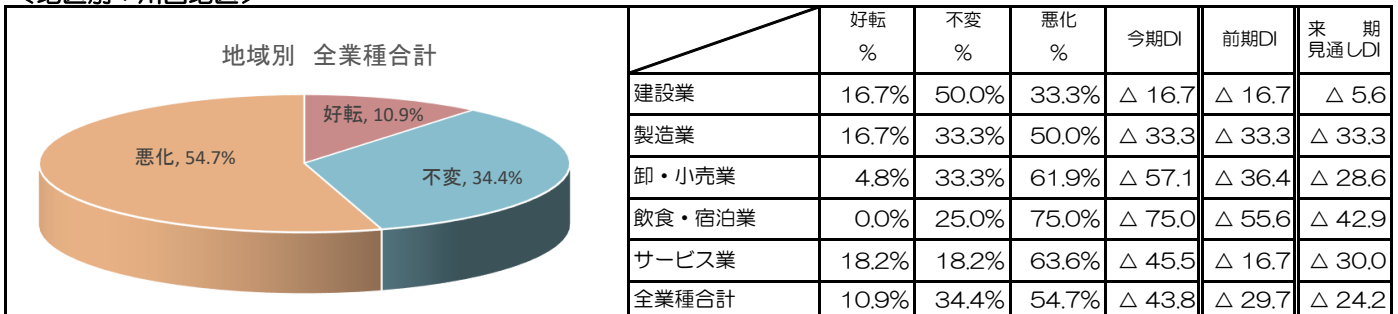
業種別採算の推移(市内全体)



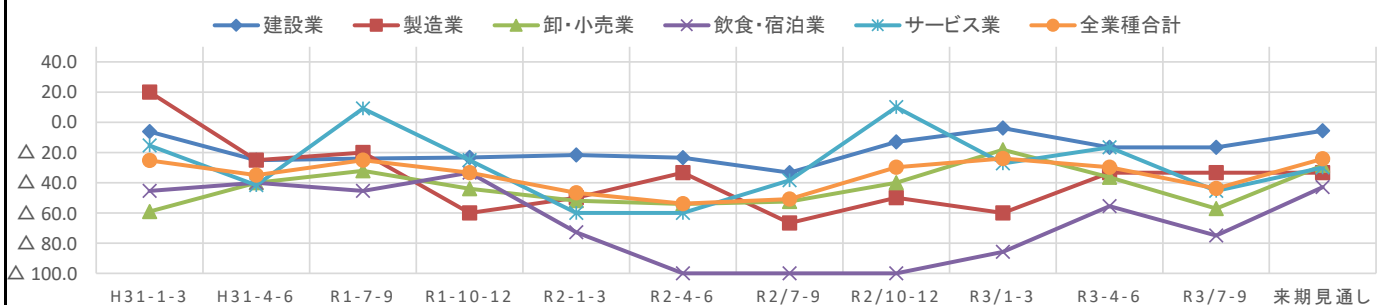
<コメント>

十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△41.0ポイントで、前回調査より10.3ポイント悪化している。サービス業においては好転しているものの、その他の業種では悪化している状況である。来期見通しでは、製造業と建設業にて悪化予測となるが、その他の業種では好転予測であり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



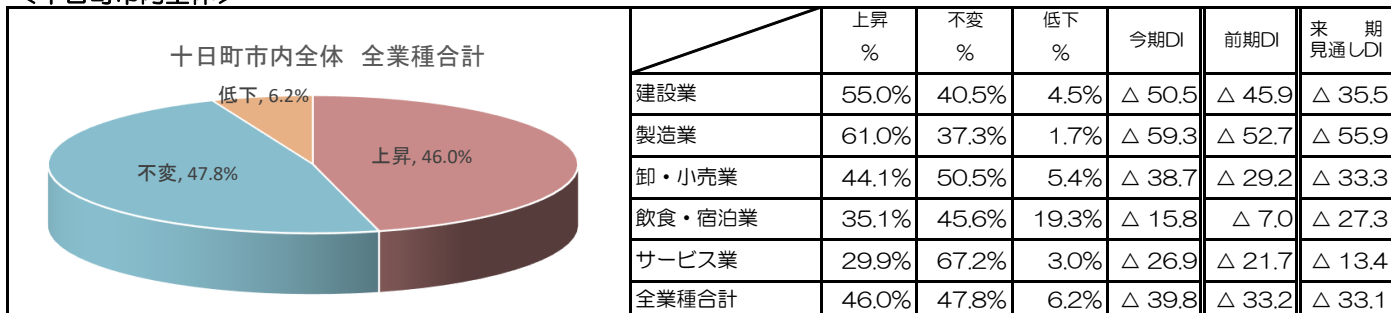
<コメント>

川西地区の採算状況は、全体では△43.8ポイントとなっており、前回調査時よりも14.1ポイント悪化している。建設業、製造業に関しては、前回調査時と変動がないものの、その他の業種において悪化したことから、このような結果となった。一方、来期見通しは製造業を除く全業種で好転予測となっており、全体でも若干の好転予測となっている。

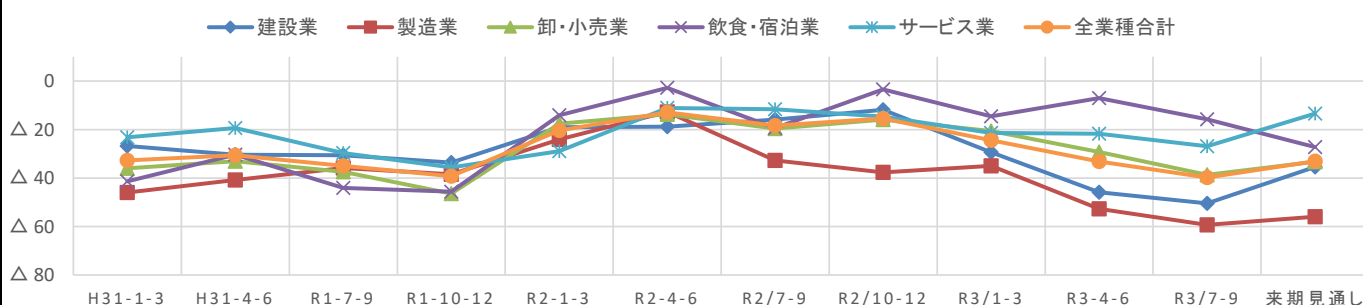
3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



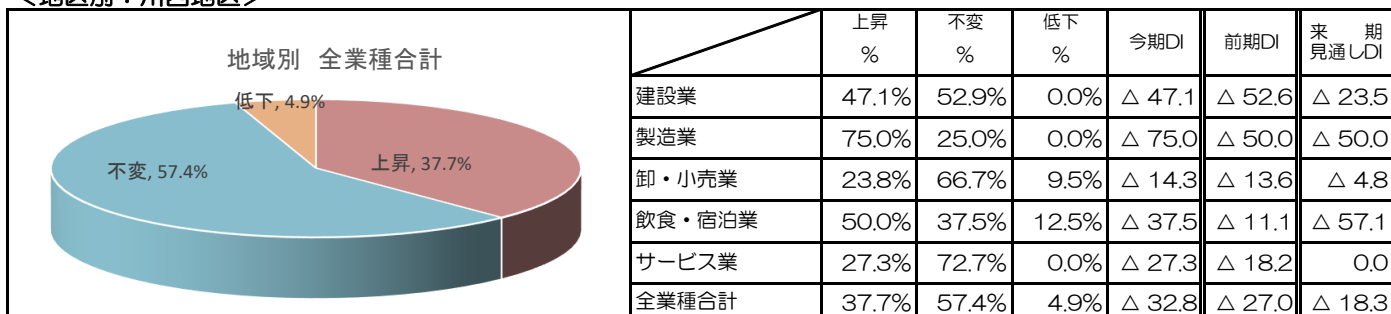
業種別仕入単価の推移(市内全体)



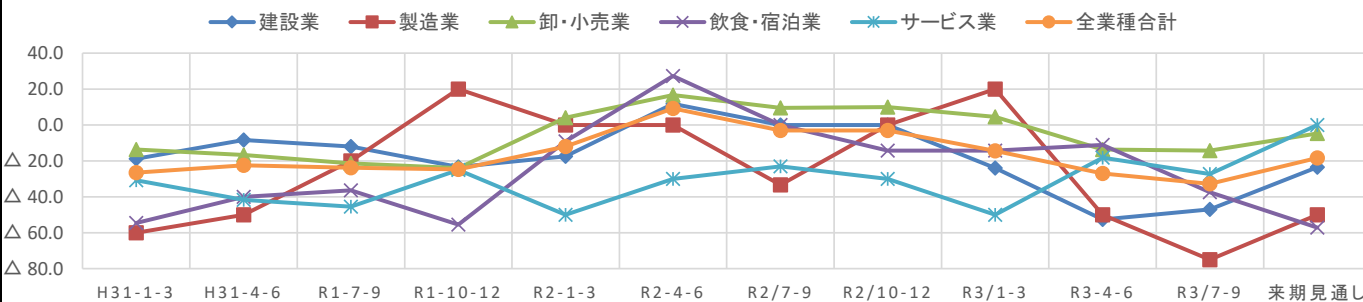
<コメント>

十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△39.8ポイントで、前回調査時よりも6.6ポイント低下している。全業種においてDI値は悪化しており、回答別に見ると建設業、製造業においては、上昇の回答が半数以上を占めている。来期見通しとしては、今期よりも全業種DI値が若干上昇の見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



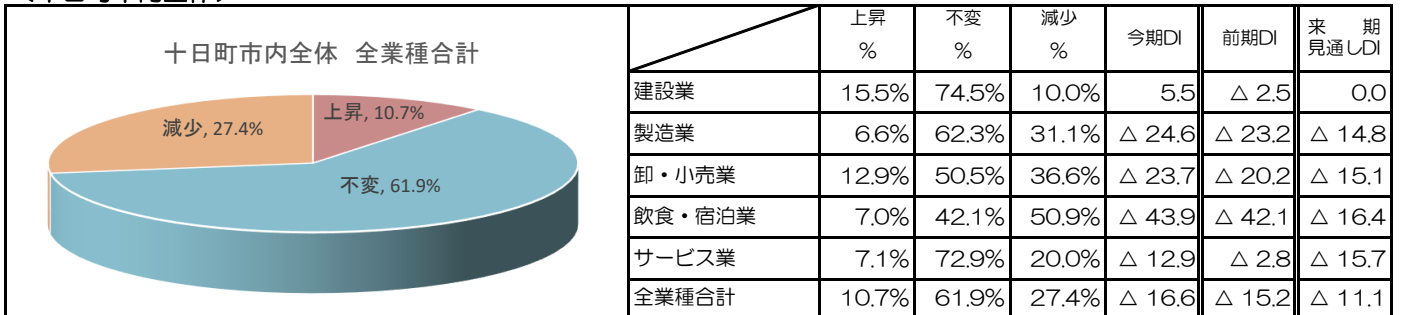
<コメント>

川西地域の仕入単価の状況は全体では△32.8ポイントで、前回と比較して5.8ポイント低下している。業種別でみると、建設業では上昇回答が出ているが、その他の業種では低下回答となっている。来期見通しは、飲食業では低下予測となっているものの、その他の業種では上昇予測となっている。全体では、△18.3ポイントとなっており、今期と比較して14.5ポイント上昇見込みとなっている。

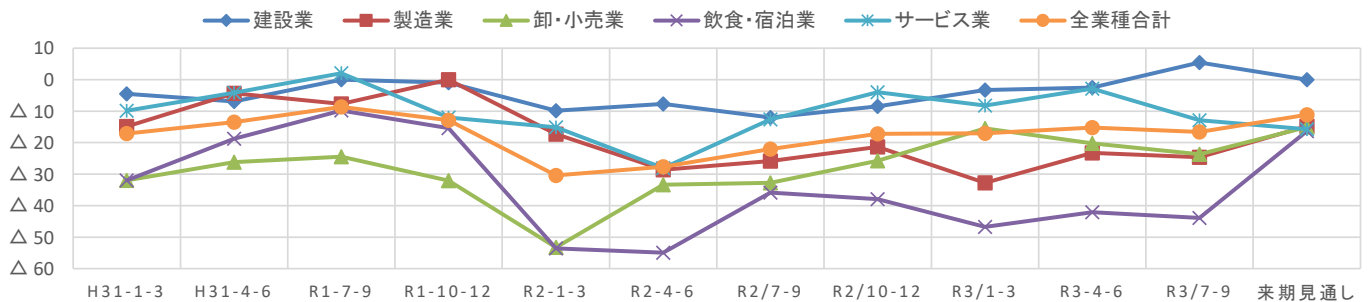
4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



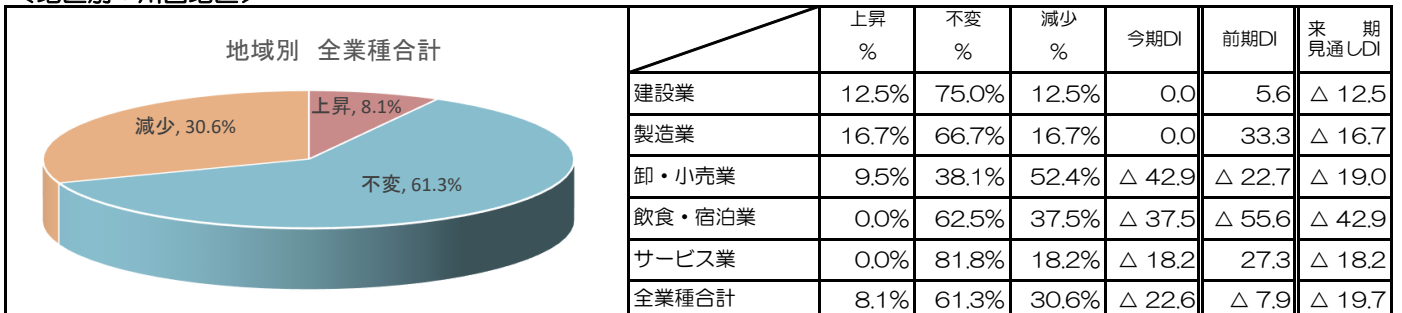
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



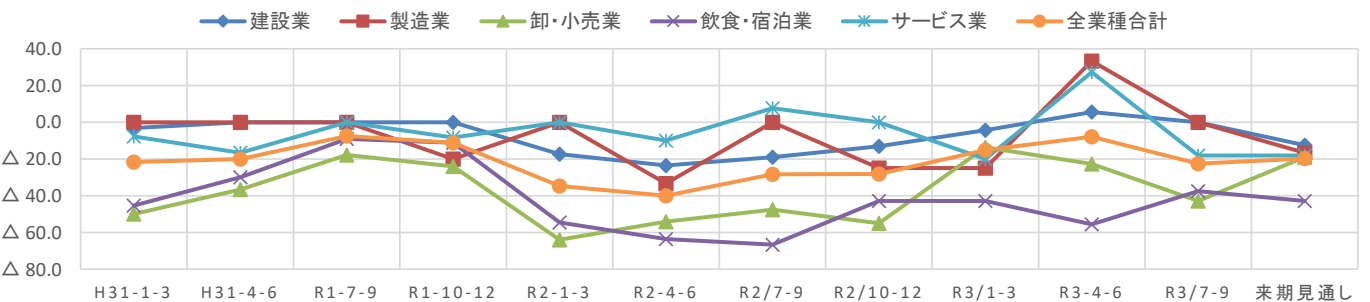
<コメント>

十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で△16.6ポイントで、前回調査時より1.4ポイント低下している。建設業以外の業種が軒並み数値が低下している。来期に関しては、サービス業が低下予測であるが、その他の業種は上昇予測であり、全業種DI値も上昇する見通しとなっている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



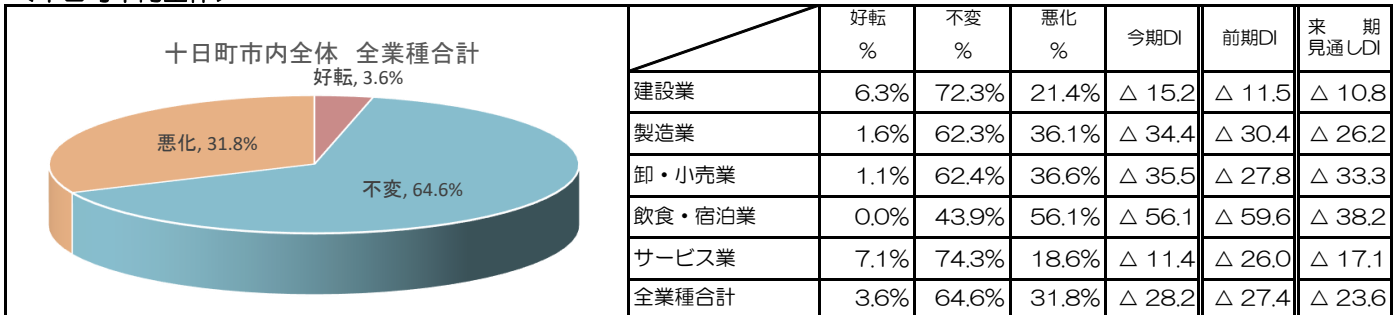
<コメント>

川西地域の販売（客）単価は、飲食業では若干増加しているが、その他の業種では減少回答となっている。特にサービス業では、前回調査時と比較して△45.5ポイントと大幅に減少している。全体では△22.6ポイントとなっており、前回調査時と比較して14.7ポイント減少している。来期見通しでは、全ての業種でマイナスの値となる予測がでている。

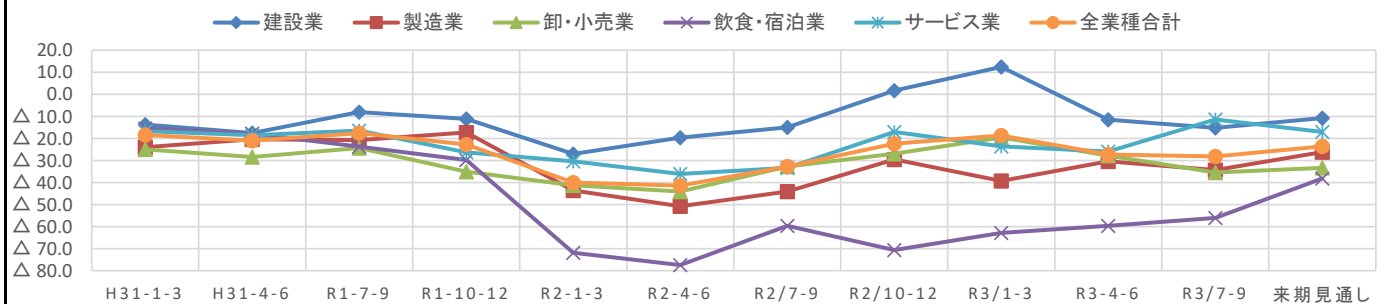
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



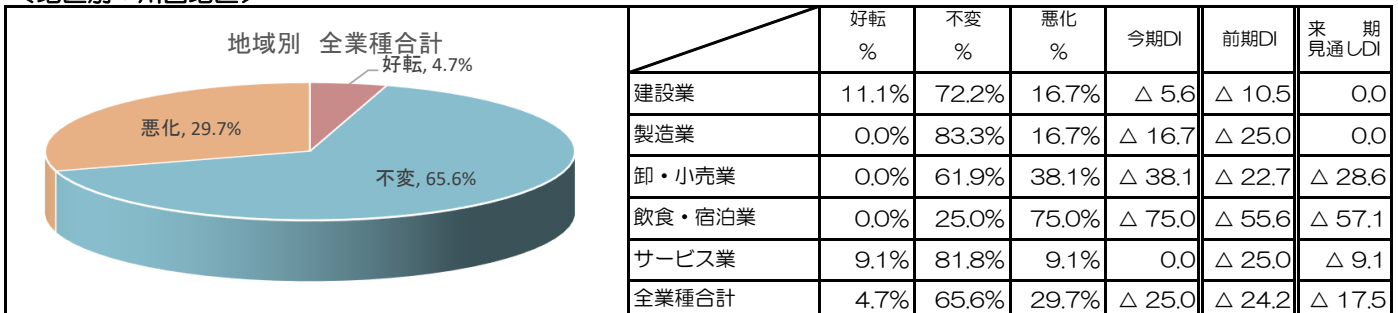
業種別資金繰りの推移(市内全体)



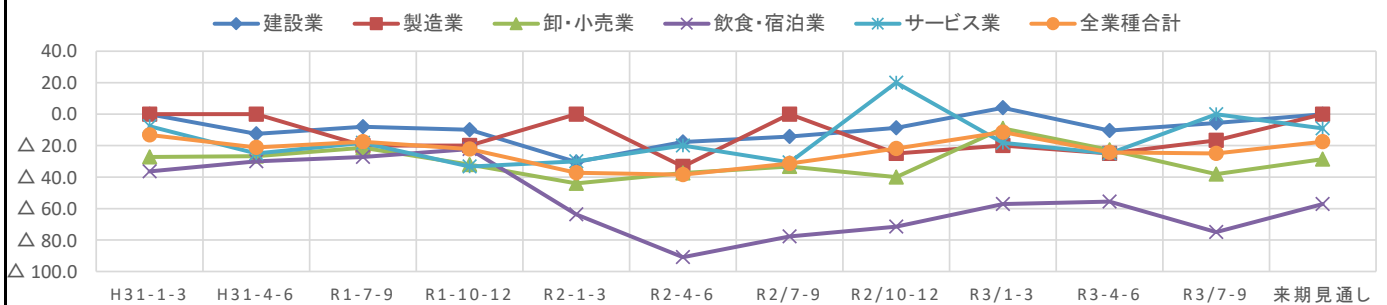
<コメント>

十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△28.2ポイントで、前回調査時より0.8ポイント悪化している。飲食・宿泊業とサービス業にて好転が見られるが、その他の業種では悪化している。来期見通しとしては、卸・小売業で悪化予測となるが、その他の業種では好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しとなる。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



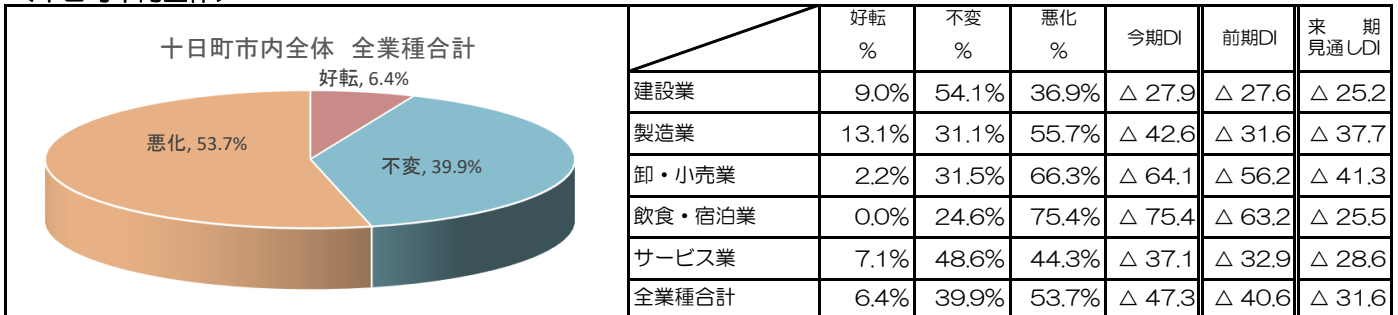
<コメント>

川西地域の資金繰りの状況は、全体では△25.0ポイントとなっており、前回調査時から大きな変動はない。業種別にみると卸・小売業、飲食・宿泊業においては悪化しているが、その他の業種は好転している。また、来期見通しは、サービス業では悪化予測となっているが、その他の業種で好転予測となっており、全体では若干好転する見通しとなっている。

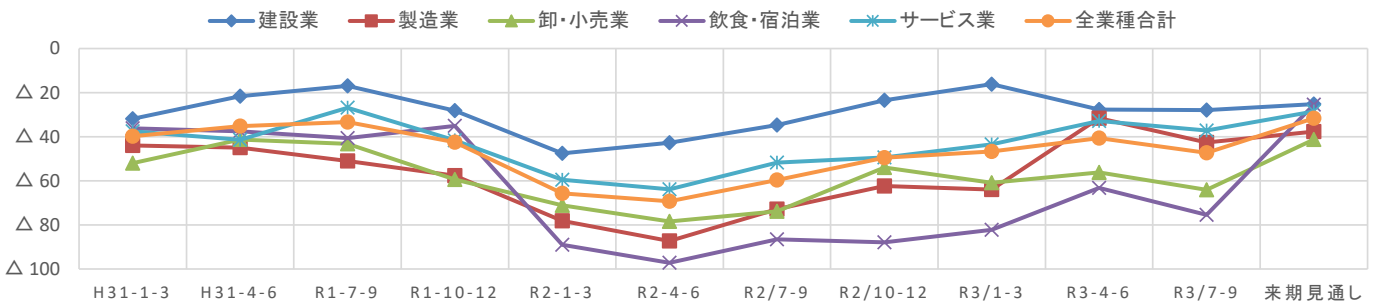
6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



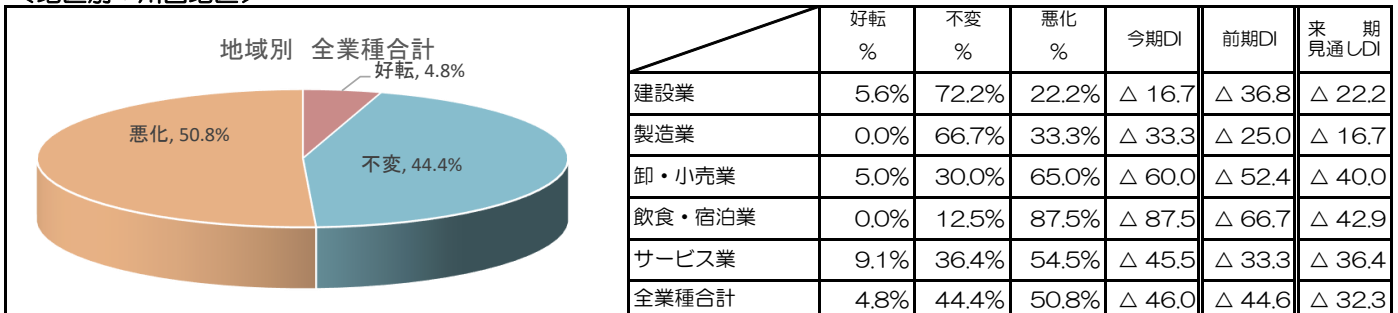
業種別景況判断の推移(市内全体)



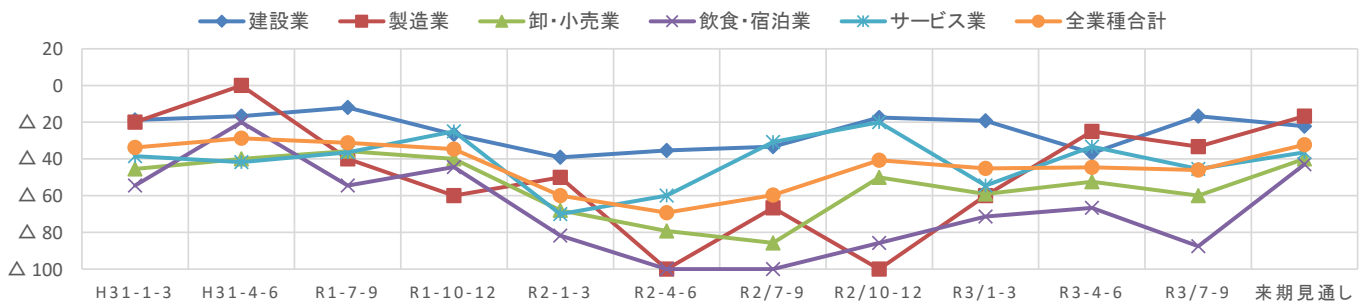
<コメント>

十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△47.3ポイントで、前回調査時よりも6.7ポイント悪化している。全業種において悪化する中、飲食・宿泊業の悪化が大きく、新型コロナウイルスによる影響があったものと推測される。来期見通しは、製造業が悪化予測となるが、その他の業種は好転予測であり、全業種DI値についても好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

<地区別：川西地区>



業種別景況判断の推移(地区別)



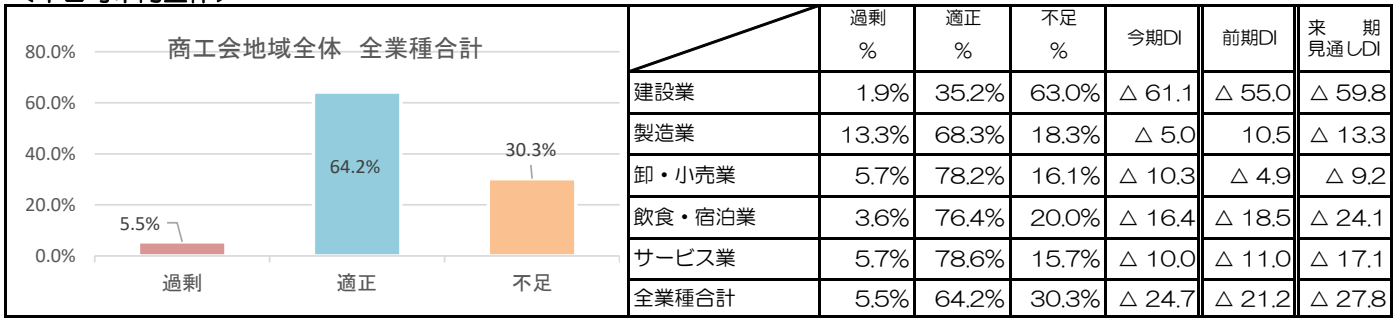
<コメント>

川西地域の景況判断は全体では△46.0ポイントで、前回調査時から大きな変動はないようである。建設業では好転しているが、その他の業種においては悪化している。中でも、飲食・宿泊業の悪化が最も大きくなっている。一方、来期見通しでは、建設業では若干悪化の見込みとなっているが、その他の業種では好転予測となっており回復が見込まれる。

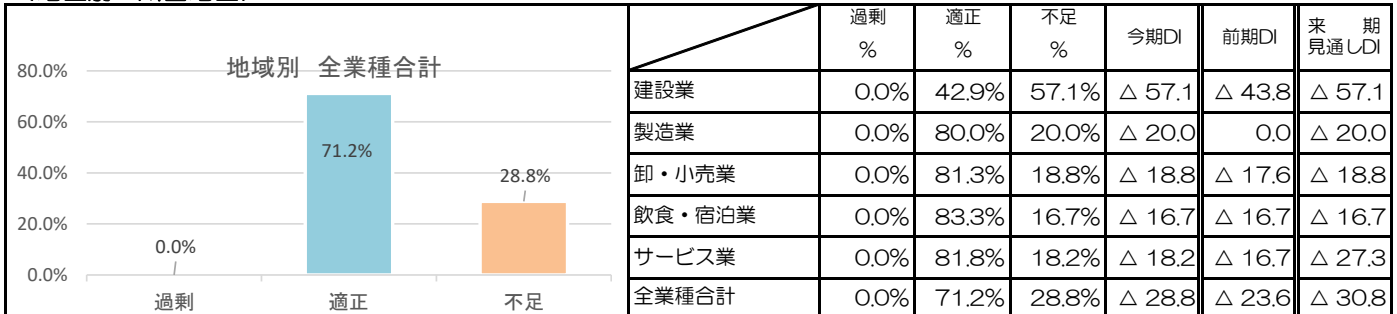
7. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：川西地区>

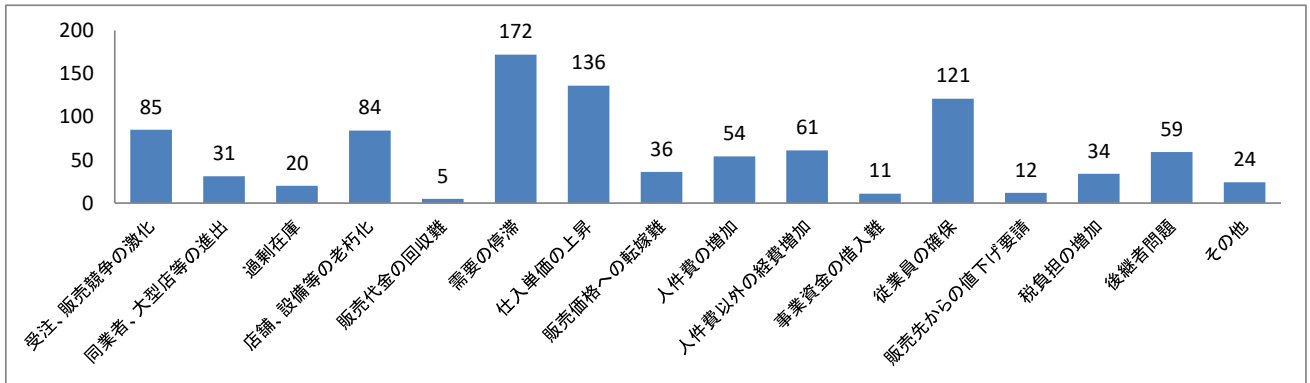


<コメント>

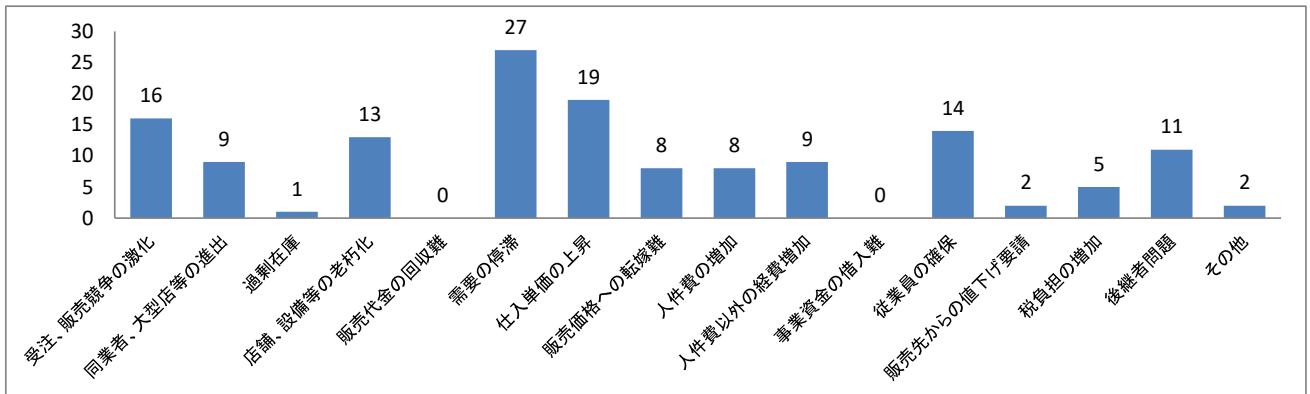
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.8%減少し、不足回答が1.8%前回調査時よりも増加している。川西地区の状況は、減少回答が5.2%増加しており、特に建設業において不足回答が目立つ状況となっている。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「従業員の確保」、4位が「受注、販売競争の激化」と変わらなかった。川西地域の経営上の問題は、1位「需要の停滞」、2位「仕入単価の上昇」、3位「受注、販売競争の激化」、4位「従業員の確保」と4位までは変わらなかった。5位は「店舗、設備等の老朽化」となっており、前回調査時から順位を上げた。

9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業における経営上の課題は1位「従業員の確保」2位「仕入単価の上昇」3位「需要の停滞」、「後継者問題」と続いた。従業員の確保については、従来からの課題であるが、今回調査でも従業員数に関して不足回答が増加しており、最重要課題となっている。</p>
<p>【製造業】 製造業では、仕入単価の減少や資金繰りの好転が見られた一方で、販売(客)単価の減少、景況判断の悪化も見られた。経営上の課題として「需要の停滞」が最も多く挙げられた。また、「受注、販売競争の激化」、「店舗・設備等の老朽化」、「過剰在庫」「仕入単価の上昇」などもあげられており、多方面に課題を抱える事業者が多いようである。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業においては、採算の悪化や販売(客)単価の減少、資金繰りの悪化が見られた。経営上の課題としては、「需要の停滞」を半数近くの事業所が課題としてあげ、1位となっている。その他の課題としては、2位に「受注、販売競争の激化」と「同業者、大型店等の進出」、3位に「仕入単価の上昇」があげられた。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては、売上状況の質問について、全ての事業所が減少回答となっており、売上減少が課題の一つとなっていることが伺える。また、経営上の課題として、「店舗・設備等の老朽化」、「仕入単価の上昇」も挙げられており、多方面に課題を抱える事業所が多いようである。</p>
<p>【サービス業】 販売(客)単価と売上の減少が見られた。特に、売上に関しては△54.5ポイントとなっており、前回調査時と比較して△62.8ポイントと大幅に減少している。また、経営上の課題では「需要の停滞」が1位となっており、回答事業者の約半数が課題としてあげており、重要課題となっている。</p>